

「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

課題名：皮膚腫瘍の治療効果と副作用に関する後方視的観察研究

1. 研究の対象

2000年4月1日から2030年3月1日までに当院で皮膚腫瘍に対する治療を受けられた方

2. 研究期間

研究機関の長による研究実施許可後～2030年3月31日

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日は以下の通りです。
利用開始日：2020/6/1

4. 研究目的

近年、悪性黒色腫やメルケル細胞癌などの皮膚腫瘍に対して免疫チェックポイント阻害薬など様々な薬剤が使用できるようになり、高い効果を示しています。しかし、各薬剤の効果、副作用の比較や、どのような方に治療効果が出やすいか、副作用が生じやすいかなどの詳細な情報は分かっていません。そこで、残されている臨床情報を用いて、各薬剤の効果、副作用の比較や、効果や副作用と臨床情報との相関などを解析します。この研究結果が、皮膚腫瘍に対する治療選択の一助となると期待しています。

5. 研究方法

この研究では、カルテに残されている診療記録などの臨床情報を用いて皮膚腫瘍の各治療による効果、副作用の比較と効果、副作用と相関する因子の解析を行います。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、採血データ、治療歴、副作用などの発生状況等

7. 外部への試料・情報の提供

「該当なし」

8. 外国にある者に対して試料・情報の提供する場合

「該当なし」

9. 研究組織

「本学単独研究」

10. 利益相反（企業等との利害関係）について

当院では、研究責任者のグループが公正性を保つことを目的に、情報公開文書において企業等との利害関係の開示を行っています。

使用する研究費は運営交付金（皮膚科グループ）です。

外部との経済的な利益関係等によって、研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、または損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究の利害関係については、現在のところありません。今後生じた場合には、所属機関において利益相反の管理を受けたうえで研究を継続し、本研究の企業等との利害関係について公正性を保ちます。

この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

1 1. 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、情報の利用の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

1 2. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者の所属・氏名：筑波大学医学医療系皮膚科 中村貴之

住所：茨城県つくば市天久保 2-1-1

連絡先：電話 029-858-2173 対応可能時間：平日 9-17 時

当院の研究責任者：筑波大学医学医療系皮膚科 中村貴之